

競争を生き抜く代理店

代表 那須 顯一
取締役 那須 顯一

TEL06-6282-6488(代)
http://www.j-thinktank.com/

努力と勇気でチャンスをつかむ

契約先の経営内容把握

冷え込みで代理店経営にも影響

リーマン・AIJショックに端を発した形の、昨今の金融危機は至る所で、その爪あとを残し始めている。あらゆる業種で、企業の倒産が相次いでいます。

また、銀行を始めとする、複数の金融機関で、債権保全を急ぎ出した結果、いわゆる「貸し剥がし」「貸し渋り」現象が顕著化し、本来不良債権化しそうな企業に対してだけの対応が、優良企業に対しても増加して来ていますので、優良企業の「黒字倒産」も今後確実に増加しそうです。

換言すれば、
・運転資金を自己資金100%で回せる企業以外は、わずかでも倒産の可能性がある！というところ。

そこで、皆さんの契約先企業の経営内容を考えて見て下さい。わかっている場合は聞いてみて下さい。

ポイントは、各企業の資金繰りがどうなっているか？ 日本の上場企業の90%以上は、運転資金を、金融機関からの融資に頼っています。当然金利を払って。

換言すれば、確率・可能性から言うと、皆さんの契約先企業の90%は、金融機関の意向次第で、倒産の可能性が非常に高いです。

・事業売却
・業廃に関する話が多かったのですが、AIJショック以降は、内容的には「前向き」な話が多くなっています。

それまでは、後継者問題
・売上(手数料)増加
・維持

二極化していく顧客 賠償意識にも変化が出る

「下り」止まらない経済動向の中で、設備投資、資産増強、購買への意欲は法人・個人問わず冷え込んでいます。

その一方で、自営と今後御社が「どうすべきか？」見えて来るでしょう。AIJショック以降、私の元に寄せられる、この紙面の読者の皆さんのごからの相談内容にも、顕著に変化が出てきました。

「下り」止まらない経済動向の中で、設備投資、資産増強、購買への意欲は法人・個人問わず冷え込んでいます。

その一方で、自営と今後御社が「どうすべきか？」見えて来るでしょう。AIJショック以降、私の元に寄せられる、この紙面の読者の皆さんのごからの相談内容にも、顕著に変化が出てきました。

金融危機で企業の資金繰りは？

ポイント、各企業の資金繰りがどうなっているか？

「なせなら、今までは、後継者をどうするか？」の問題に高齡化した代理店主の方は、「上げ」局面にある経済状況の中で、自社・自身の営業能力や、契約先との関係等を、「過信」したケースが多いように思われます。あたかも自分だけが「いつまでも収益の上がる不動産を所有」している、そんな「オイシイ」仕事だから、後継者にならざるを得ない状況に、幾許かの金銭をでぎるだけ長期間もらいたい！という勘違いな要求をされる店主もいます。

当然、私としては、そんな話に賛成のある若い代理店経営者を紹介できる訳もなく、相談者の要求が高過ぎて、結論が出る訳も、出す気もありませんでした。

新たなバブルが崩壊し、保険事業にも大きく長い影を落とす結果になりそうなのも、規制緩和で価格競争の後、競争相手が疲弊した時に、必ず勝者が価格をシワシワ吊り上げます。

少子・高齡化が進み、労働形態が変化してこれからは、数年前からいわれていた通り、損保・生保とも、

★加入できる余裕のある方
★加入できない方・少ない方
☆加入できない方・少ない方
に二極化し、賠償意識も変化します。

それまで貴社が生き残れるビジョンはありますか？
また、賠償意識も変化します。

「下り」止まらない経済動向の中で、設備投資、資産増強、購買への意欲は法人・個人問わず冷え込んでいます。

その一方で、自営と今後御社が「どうすべきか？」見えて来るでしょう。AIJショック以降、私の元に寄せられる、この紙面の読者の皆さんのごからの相談内容にも、顕著に変化が出てきました。

「先生、癌に負けたくないで」

骨髄移植を翌月に控えた9月下旬、僕とI君は先生を励ましに病室を訪ねることにした。「今度報告しておくよ。移植の日が決まったよ。10月9日。あまり楽観視出来なないけど、とにかく早く復帰できるように頑張ってくださいよ。…さあ、暗い話だけれど、これぐらいにして約束通りの美味しいもの食べに行こう！二人とも今何が一番食べたい？」

アルコールとなま物を控えたが、先生の発する言葉は、「ポイントに病気が、僕が心配するほど」

それが数分後、僕の携帯が振動した。先生から返信が来た。

「それから、明日夕方I君と事務所の方に寄ってもらえないか？ 時間は5時から連絡させるから。みんなでご飯でも食べに行こう！」

9月20日(土)午後5時、西天満の弁護士事務所を訪ねた。暫くしてI君も入ってきた。

「お待たせ、お店に行くと二人に今の現状を報告しておくよ。移植の日が決まったよ。10月9日。あまり楽観視出来なないけど、とにかく早く復帰できるように頑張ってくださいよ。…さあ、暗い話だけれど、これぐらいにして約束通りの美味しいもの食べに行こう！二人とも今何が一番食べたい？」

アルコールとなま物を控えたが、先生の発する言葉は、「ポイントに病気が、僕が心配するほど」

それが数分後、僕の携帯が振動した。先生から返信が来た。

「それから、明日夕方I君と事務所の方に寄ってもらえないか？ 時間は5時から連絡させるから。みんなでご飯でも食べに行こう！」

9月20日(土)午後5時、西天満の弁護士事務所を訪ねた。暫くしてI君も入ってきた。

「お待たせ、お店に行くと二人に今の現状を報告しておくよ。移植の日が決まったよ。10月9日。あまり楽観視出来なないけど、とにかく早く復帰できるように頑張ってくださいよ。…さあ、暗い話だけれど、これぐらいにして約束通りの美味しいもの食べに行こう！二人とも今何が一番食べたい？」

移植の治療に入った先生 元気と勇気送ります。

楽しい時間を過ごすことができ、体にもいい効果が出ています。10月17日、「昨日急に悪化。ICUで人工呼吸器を装着。麻酔で意識はない状態です」

10月20日、「厳しい状態です。今は待つしかありません」

10月21日、「不整脈の処置をされました。白血球はまだ上がらず、治療を待ちます」

10月22日、「二時の危篤に近い状態からは、少し数値的にましみたいですが、まだ白血球はあがりません。抜けない状態が続いています」

10月23日、「熱と下痢が心配です。数値は横ばい」

10月25日、「今朝、人工呼吸器を外し呼びかけには首を振りますが、口は血だらけで熱や感染数値、肝臓数値など再度手術当日の夜がっており、尿がかなり遅く、先生の傍に付き添っています。主治医は心配要因がたかさんあり白血球も本当に上がるかはまだ分かりませんが、私は回復を信じています」

僕に出来ること、I君に出来ること、そして、皆さんに出来ること。今は先生の回復を信じて祈り続けます。

10月15日、「口内炎や熱、喉の痛み、浮腫みや腫れもあり食事が出来ません」

先生、癌に負けたくないで！

(JLD 瀬戸内青空)

争奪保険マーケット

生保営業第一線(86)

<177>

「先生、大丈夫ですか？」

「大丈夫！ 夫です。久しぶりに二人の歌、聴いてみたいし…」

「とにかく先生に元気と勇気を」

僕たちは学生時代に流した歌を歌い続けた。そして先生も「僕も歌ってみようかな…」

翌日、「おはようございませう。昨夜はたいへん腫れもあり食事が出来ません」

先生、癌に負けたくないで！

(JLD 瀬戸内青空)